

避難訓練を終えて

平成25年4月22日
大牟田市立右京中学校

4月19日金曜日6限目に避難訓練を実施しました。
緊急地震速報が流れ、その後地震がおきて、職員室付近から出火するという想定でした。

緊急地震速報のあと、生徒諸君は、落下物から身を守るため机の下に20秒ほど隠れ、出火を知らせる放送を受けて学級担任の指示のもと、避難を開始しました。緊急地震速報から避難完了（全員の安否の確認を終了した時点）まで、約4分弱かかりました。

避難訓練には、大牟田市消防局・明治出張所からレスキュー隊の皆さんに来ていただき、避難や初期消火の仕方・注意点などについて教えていただきました。レスキュー隊の古賀隊長（右京中学校出身）から今回の右京中学校の避難訓練について講評をしていただいた内容を下にまとめました。

- 地震や火災の時には大人でもパニックになる。
- 先生の指示を良く聞き、それにしたがうこと。
(避難の時の先生の指示を、あとで質問した時に答えることができなかった)
- 避難する時に、しゃべったり笑ったりしていて真剣さが足りない。
訓練だからと適当にやっているといざというときに困る。
今日の様子では、もし本当に火災が起きた時に死者が出てしまうかもしれない。
- 自分で自分の命は守るという気持ちが必要である。
- 2年前に天領小で訓練した時に比べて、避難する態度が良くなかった。
- 大牟田市の火災は、去年は70件ほどあった。
緊急要請は、非常に多くなっている。



古賀隊長は、2年前、東北大震災の救助活動に出動されました。その時、避難訓練に取り組む、小中学生の真剣な態度を見て、被害を減らし、命を守るためには、日頃から真剣に訓練に取り組むことが何よりも重要であると感じられたそうです。

君たちも、今回の反省をしっかりと胸に刻み、地震や津波・火災が、遠くのまちのできごとではなく、明日、この大牟田や自分の身の回りでもおこる可能性があることを忘れないでいて下さい。

